



1/12 大人への仲間入りをお祝い



令和初の成人式記念式典が、市民文化センター大ホールで開催されました。

参加した新成人は約 800 人。式典では新成人を代表し、中川晏奈さんと塩崎蓮さんが司会進行を担当。矢野良典さんと山下季姫さんが決意表明をしました。

会場の内外では、華やかな振り袖や袴、新しいスーツに身を包んだ多くの新成人が談笑。就職先や進学先から帰省した同級生との久しぶりの再会を喜んだり、お互いに記念撮影を行ったりする姿が見られ、ほほ笑ましい雰囲気に包まれていました。

1/13 無病息災を祈って



大島の新年の伝統行事で、市無形民俗文化財の「とうどおくり」が大島港前の広場であり、島民らが今年一年の無病息災を祈りました。

広場には、竹や、しめ縄飾りなどの正月飾りを組み合わせた巨大なとうど 2 基を設置。午前 6 時になり、1 基ずつ四方から火がともされると、とうどは見る間にオレンジ色の炎に包まれました。

パチパチと竹がはぜる音が響く中、訪れた見物客は静かにとうどを見つめ、それぞれに願いを込めていました。

1/19 たこたこ 揚がれ〜♪



第 35 回新居浜凧あげ大会が、マリナーパーク新居浜で開催されました。

今年は 67 個人、17 団体、総勢 281 人の参加者が自分たちで作った自慢の凧を持って集結。風があまり吹いていないという悪条件でしたが、参加者は凧を上げようと会場を元気いっぱい駆け回ったり、声を掛け合ったりして、思い思いに楽しんでいました。

【主な賞は次の通りです（敬称略）】

市長賞…（団体）新居浜小学校（個人）藤本琉生
議長賞…（団体）カブ隊3（個人）村上愛佳
教育長賞…（団体）宮西小学校（個人）高橋愛佳

1/20 一つ一つ丁寧に直します



古くなった車いすを修理・再生し福祉施設などに贈る活動を 20 年間続けている新居浜工業高校 VYS 部が日韓国際環境賞を受賞しました。

この賞は東アジア地域の環境保護などに貢献した個人や団体の功績をたたえるもので、日本の高校生団体として初受賞となりました。

同部は、平成 12 年の創部以来、13 カ国に 2,000 台以上の車いすを寄贈。部長の片岡真也さん（2 年）は「今までの活動が評価されてうれしい」と話し、修理については「使う人のことを考え丁寧に直すことを心掛けていて、完璧な状態で提供したい」と笑顔で答えました。



1/26 今年も大盛況！



商店街の冬の恒例行事「第16回いまさいフェスティバル」が銅夢にいほまを中心に行われ、新居浜・西条産の野菜や果物を買求める来場者らでにぎわいました。

旬のイチゴや野菜は新鮮そのもの。来場者は生産者とのコミュニケーションも楽しみながら、お目当ての品を購入していました。

会場では、バルーンアートやミニチュア太鼓台展示など多彩なイベントも実施。中でも本マグロの解体ショーは大盛況で、多くの家族連れが職人の巧みな包丁さばきに見入っていました。

1/29 団結して戦ってきます



令和元年度第15回春の全国中学生ハンドボール選手権大会（3/25～29、富山県）に出場する選手らが報告のため市役所を訪れました。

現在は、東中、南中、川東中の3校合同チームとなっていて、メンバーは、2年生8人、1年生4人の計12人。

「仲間を信頼し、信頼されるプレーをしたい」「チームを良い方向に持っていけるように頑張る」と各々が全国大会に向けての決意を語る中、市長は「練習の成果を発揮し、優勝目指して頑張る」とエールを送りました。

1/31 最後まで諦めない戦いを



文部科学大臣杯第11回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント（3/21～26、静岡県）に2年連続で出場する中萩中野球部の選手と関係者らが市役所を訪れました。

昨年11月23日に川之江南中・北中の合同チームと代表決定戦を行い、両エースの好投と野手の好プレーで延長の末サヨナラ勝ちを収めました。

兼子拳悠主将は「まずは一勝が目標。最後まで諦めず全力で戦い、最高のプレーをしてきます」と意気込み、市長は「愛媛のために大いに頑張ってもらいたい」と激励しました。

2/3 全国の舞台で大健闘



第27回全国中学校駅伝大会（令和元年12月、滋賀県）の結果報告のため、西中学校男子・女子駅伝チームが市役所を訪れました。

女子は3年ぶり4回目の出場。中盤での走りが光り、14位を記録しました。2年連続5回目の出場となった男子は、見事5位入賞を果たしました。また、男子には教育委員会表彰が行われ、表彰状と記念品が手渡されました。

選手はそれぞれに大会を振り返りながら、支えてくれた周囲の人への感謝の意を示しました。